

apo

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza Powered By Career Power 株式会社 キャリアパワー

Vol. 79
2018.6 Summer

「立場や役職に関係なく存分に実力を発揮できる。 偏見を捨てたことが高め合える成長のカギ。」

学校法人北里研究所
／北里大学
法人本部 人事部
部長
飯淵 哲様



Top Interview

巻頭インタビュー

今回は学校法人北里研究所／北里大学の法人本部人事部長 飯淵哲様にインタビューをさせていただきました。近年研究や医療の分野で各方面より注目が高まっている私立大学。今後の人材育成と採用方針の展望、それに向けた想いについてお話を伺いました。

外部の人材リソースを活用することが、大学内への刺激と活性化に繋がっている。

本学が法人として最初にお世話になった派遣会社が、キャリアパワー社になります。初めての人材活用から、かれこれ16年はお世話になっているのでしょうか。長い期間、パートナーとして共に歩んできた自負がございます。

人材派遣を活用するメリットは、私たち職員にとっても大変良い刺激となり、さらに士気を高めてくれるところにあると考えています。貴社からは現在も非常に実務能力が高く、また人間性に優れた方々を派遣していただいております。スタッフの皆さんは、これまでのキャリアからご自身の強みを大いに発揮し、配属と同時に即戦力として活躍されています。もちろん私たち職員もそれなりに長く仕事をしていたら業務経験も豊富ですが、何しろ「北里大学」という限定された職場です。そこに企業等で多くの就業経験を積んだスタッフの方々を迎えることで、職場に新鮮な風を吹き込み、私たち職員自身が「初心にかえって襟を正さねば!」あるいは「もっと効率的に仕事をしよう!」と非常に良い効果を生み出しています。単に慣習的な考えを凝り固まらせないためにも、「派遣」という形態で外部の人

材リソースを活用することは、私たち現場の職員にとっても大きな刺激であり、成長のチャンスでもあるのです。

また一方で、今後さらに強固なパートナーシップを継続していくために大切なこととして、本学の風土や職場の雰囲気や働き方に敏感に感じとっていただくことは、人材のマッチングにも役立ち重要だと考えています。大変喜ばしいことに貴社のご担当の方は、私たち職場の人員構成や実際に仕事をしている様子から即座に判断され、私どもが今必要としている方をまさにピンポイントでご紹介くださっています。これこそ私たちが貴社に全幅の信頼を置くことができる一番の理由です。

個人個人の人間性や可能性を重視した採用と人材育成。北里大学が飛躍し続ける原点が人事の「多様性」にある。

今後の採用課題としては、時代に即した形態を目指し「多様性」を取り込んでいくことでしょうか。大学職員には、終身雇用や年功序列、あるいは新卒一括採用など、もちろんメリットも多々ありますが、未だ保守的な体制も根強く残っていることは否めませ

ん。あえて申し上げることもないですが、これからの時代はもちろんそれでは通用しないわけで、まずは採用から根本的に見直しているところです。

大学職員に求める専門分野もさまざまです。職員に画一性は求めません。高い倫理観のもと、職員同士がお互いを尊重し協働することで仕事の質を高めていきます。そういう意味では本当のプロフェッショナルを育成することを念頭に考えています。今後のAIも視野に入れなければなりません。そのような思いもあり、大学職員の採用については、新卒採用や専門職の中途採用の他、特に派遣スタッフで優秀な方を私どもの正職員として迎える「専任職員任用制度」を導入し、これは昨年度始めたばかりですが、既に3名の方がこの制度を利用して正職員として活躍されています。

また、大学の国際化も進んでおり外国人の職員採用も重要です。直近の例ですと、昨年、中国籍の方を事務職員として採用しました。中国語は当然ですが、日本語も英語も堪能、バイタリティ溢れ、誠実ながらも自分の考えを明確に表現できる人で将来の可能性を感じました。これも本学が目指す「多様性」です。新たな視野や考えを柔軟に取り入れていく

ことは重要で、このような職員が今後も増えていくことを願っています。

さらに人材育成については、より「専門性」を高める取り組みが大事だと思っております。様々な職場や役職を経験し、ジョブローテーションや教育研修を繰り返しながら自らの得意分野(専門性)を培っていき、ゆくゆくは複数の専門性を持ったハイブリッドな職員に育成することを目指しています。大学病院や専門学校の仕事も含めて、業務内容も「多様性」、学内には多くの活躍の場があります。

一方で、ご承知のとおり派遣スタッフとして勤務いただいている方が正職員と同じようにジョブローテーションを繰り返すことは難しいです。その様な状況で、人事部としては「派遣スタッフだから」といった扱いをあえてしないことで仕事へのモチベーションを高め、さらにスキルアップできる就業環境を提供できると考えています。そもそも傍から見れば誰が正職員か、非正規職員かなかなか区別が付きません。身近な管理者は判断が付きませんが、教員や医師、学生からすれば、どのような立場であって一人の職員として接してきます。能力ある派遣スタッフの方には活躍する場が多くあり、それを活かしている方がたくさんいらっしゃいます。これは本学の職場風土ということもありますが、就業形態にかかわらず、個人の資質や能力に合わせて存分に力を発揮できる就業環境があることで、必然と自分の仕事に対する誇りと他の職員へのリスペクトが生まれてくると考えています。ぜひとも同じ職員として、仕事の「やりがい」を見つけてほしいと願っています。

時代にあわせた教育や制度は必要。ただ根幹にあるマインドは「思いやりと人のためになること」という大村教授の言葉。

ランキング※の結果は非常に喜ばしいことですが、国際性に関してはまだまだ開発途上です。外国人職員も留学生の数も決して多いわけではないですし、この結果のみをもって世界に認められたと受け止めているわけではありません。

2015年に本学の大村智特別荣誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したこともあり、おかげさまで本学に対する認知度も高まりましたが、このようなランキングにはノーベル賞受賞の影響も少なからずあると思います。ノーベル賞の受賞は、我が国にとって誇るべき名誉なことではありますが、何よりも私学出身者では初めての快挙、受賞

のニュースが流れたときは学内にいた教職員や学生から一斉に歓声があがりました。翻って思い起こせば、北里研究所創設者の北里柴三郎博士が、1880年代のドイツ留学中に破傷風菌の純粋培養に成功し、さらにその血清療法を確立したことで、第1回のノーベル賞候補になっていたと聞き及んでいます。その時は、残念ながら受賞を逃しましたが、1世紀を超えて、大村教授がその栄誉あるノーベル賞を受賞したことは、北里柴三郎の学統を受け継ぐ者として、とても感慨深いものがあります。学外からの高い評価に応えていくためにも、研究者や学生の可能性をより伸ばせる教育・研究環境を整えなければと考えております。

また、教育体制では、一人ひとりの学生に丁寧な教育・指導を施していることで、高等学校の教員や企業の人事担当の皆さまより年々高い評価をいただいていると伺っています。正直、大学としては少々過保護な面もございますが、面倒見の良い大学と評価され、今の時代に沿った教育がある程度出来ているのではないかと思います。

昨年からの法人に新しく入った事務職員に対し、大村教授の講話を受ける機会を設けております。ノーベル賞受賞者から直接話を聴く機会は、本学の職員の特権ですが、これまでメディアの世界でのみ垣間見ることができた大村教授との出会いは、まさに驚きの連続で思わず緊張のあまり固くなってしまのですが、大村教授の巧みな話術でときほぐされていく様子を見るととても微笑ましく思います。これから社会人として働く心構えなど、温かい人柄と熱いメッセージに新入職員もこの法人で仕事が出来ると喜びと誇りを感じています。

※「THE 世界大学ランキング日本版 2018年」にランクイン

※「採用を増やしたい大学ランキング」でもランクイン、特に都内および私学では第1位

現場を知ることで本質がわかる。自身のキャリア形成は様々な方との出会いにより構築された感謝の証である。

最後になりましたが自己紹介を少し。私の経歴ですが、ちなみに出身大学は北里ではありません(笑)。他大学を卒業と同時に、本学の事務職員に採用されました。当時は大学職員という進路をあまり深く考えていなかったのですが、学生時代から大学のアカデ

ミックで自由な雰囲気がとても好きだったこともあります。研究者には不向きであること自覚していましたが、ならば事務職員として大学と繋がることで自分の好きな環境に身を置くことができると浅はかながら当時は考えておりました。本学は東北地方にもキャンパスがあり、新卒で入社してから最初の4年間は青森県十和田市にある獣医学部事務室の職員として過ごしました。当時はまず社会人としての基本を叩き込まれ、その後の私のキャリアを考えれば、まさしく大学職員の基礎を築いた非常に貴重な経験を積んだ時期でした。それから東京都港区にある白金キャンパスに移り本部総務部で6年間、その後本部人事部で9年間ほど法人全体の管理業務をしておりました。そこで職員の採用や研修業務にも携わり、初めて貴社から派遣スタッフを受け入れることでお世話になったわけです。その後は、新潟県南魚沼市にある専修学校で北里大学保健衛生専門学院の事務長として3年。その後神奈川県相模原キャンパスに転勤し、入学センター事務長、医療衛生学部事務長と様々な部署で多くの仕事を体験することができ、現在の本部人事部に至っております。その中で感じたことは、多くの人との出会いです。特に青森や新潟では大学以外の地元の方々との交流もあり、楽しい時間とともに私自身を成長させてくれました。また、学生募集の仕事では多くの高等学校の先生方と知り合う機会ができ、当時の高校生の人生観や職業観、教育現場の状況を学ぶことができました。私が定年を迎えるまでにあと少し時間がありますが、その中でまた新しい仕事や新しい方々に関われることを思うと興味津々、わくわくしてきます。

趣味に関しては、とにかく子供の頃は外で遊ぶのが大好きで、特に野球やサッカー、水泳に熱中してました。今でも運動好きは変わらず、近所のスポーツジムに通い始めて7年ほどになります。根っからの負けず嫌い、若い人に交じって自分なりに結構頑張っています(笑)。

おかげさまで公私共にまだまだ興味が尽きない日々を送っております。そのためにも、これからも心身共に健やかでありたいですね。

■ Information

2018年度・新規お取引先のご紹介

【新年度】キャリアパワーの新しい仲間を紹介します

キャリアパワー学術事業部の新しいライブラリアンスタッフの皆様を紹介します。

皆様には就業開始前の3月に「就業前研修」「オリエンテーション」を実施。その時は新しい職場に就くこともあり、皆様少しドキドキされつつも熱心に研修を受講していただきました。そして4月に入り、いよいよ本番!これまでのご経験や知識を活かしての就業開始となりました。

ルールを覚えることやマニュアルの読み込み、そして大学様の校風や考え方に慣れることで精一杯の1ヶ月。5月に入りようやく職場にも慣れた皆様です。

これからも色々な課題に直面することもあるかと思いますが、第一線での活躍を期待しています!

国際教養大学 中嶋記念図書館で就業の皆様



<弊社担当トレーナーからひとこと>

秋田というエリア性もあり、4月のスタートから長期にわたり、トレーナーも現地に常駐しながらスタッフとともに日々奮闘しています。

留学生が多く、外国籍の教員も多い、蔵書も洋書中心、と非常に難しい対応を求められる図書館ではありますが、スタッフそれぞれの強みを活かし相互に協力しながら、利用者に満足いただけるサービスの提供を目指します。

<図書館のご紹介>



学生たちの学び意欲に応え、いつでも、時間の制約なく勉強に集中できる環境を提供されており、「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」としてデザインされた図書館は、24時間365日開館されています。

京都女子大学 図書館で就業の皆様



<弊社担当トレーナーからひとこと>

2017年9月にオープンした新しい図書館で、まだまだ運用について試行錯誤していることもありますが、閲覧、バック、それぞれのスタッフが相互に協力しながら、利用者にとってより快適で使いやすい図書館サービスが提供できるよう、一丸となって取り組んでいます。

業務範囲がひろく、臨機応変な対応が求められることも多いですが、常に笑顔で丁寧な対応を心掛けています。

<図書館のご紹介>



キャンパスの中心に位置し、開架閲覧スペースを中心とする「知恵の蔵」と、アクティブラーニングコモンズを設ける「交流の床」で構成され、キャンパス全体を繋ぐ新たな坂道「京女坂」が通り抜けれます。それぞれが多様な居場所を生み出し、学ぶ者が集う、親しみやすい滞在型図書館です。

東京国際大学 図書館で就業の皆様



<弊社担当トレーナーからひとこと>

第1キャンパス、第2キャンパスと2つの図書館があります。2つの図書館でサービスレベルを同等に保てるよう、スタッフ間の情報共有に注意しています。

大学の担当者様ともしっかりと連携しながら、より高いレベルのサービス、より効率的な運用を目指し、一丸となって取り組んでいきます。

<図書館のご紹介>



東京国際大学創学20周年を記念し、1987年に開館された第1キャンパス図書館。商学・経済学・言語学・国際関係学の専門書を中心に30万冊を超える図書と2500タイトルに及ぶ学術雑誌、約30タイトルの新聞が所蔵されています。

■就業前研修

4月から新しい委託現場で就業されるスタッフの方を対象に、就業前の事前研修を行いました。「図書館はサービス業である」というキャリアパワーの理念のもと、サービスの心や接客マナーの基礎について再度自分自身の立ち振る舞いをトレーナーと共に見直しました。

また著作権や個人情報保護法といった、業務を行う上でのベースとなる知識についても再復習しています。これから一緒にはたらきメンバーと顔を合わせ、キャンパスマップや館内フロアマップの確認をするなど、今後の運営に向けて気持ちを高めていました!

<就業前研修風景>



キャリアパワーでは業務委託の導入時期には「学術サポートセンター」の専属トレーナーが常駐にて、万全の体制でスタッフ皆様のフォローをしております。また専属トレーナーにより各大学図書館にあわせて研修の企画もさせていただいており、導入時期から運用時期までスタッフ皆様のスキルアップや業務効率アップ、そして利用者へのサービス向上に努めております。

■ Support Center News

学術サポートセンター

学術サポートセンター通信 Vol.V

弊社キャリアパワーでは図書館で働くスタッフさんへの教育やサポート、そしてアウトソーシングの運営サポートに特化した「学術サポートセンター」がごさいます。この学術サポートセンターは図書館業務とアウトソーシング運営に精通した「プロ」集団です。今回、学術サポートセンターからは「国立国会図書館 遠隔研修」についてワンポイント学習をさせていただきます。

■ワンポイント学習

「国立国会図書館 遠隔研修」について

プロフェッショナルの図書館司書となるためには、日々の業務を確実に遂行するだけでなく、自己研鑽や学習の機会を設けることは必須となります。基礎的な知識を振り返る、発展的な内容を学習する、最新の業界動向・技術を学ぶことは、学びをサポートする図書館司書として、必要なスキルといえます。ただ、単純に自己研鑽といっても、どのように学んでよいかわからない、どうしたらよいのだろうと考える方は多いと思います。様々な館種の図書館員が自主的に集まる勉強会などに参加するのもよいでしょう。

今回紹介するのは、通勤中などの空き時間でも学習できる非常に便利なツールです。国立国会図書館では、各種図書館員を対象として、YouTubeの「国立国会図書館公式チャンネル」で図書館および図書館情報学に関する研修を動画で提供しています。

インターネット環境があれば、無償で視聴できますので、ぜひ一度ご覧ください。これまでウェブでの講座が開講されていましたが、2018年3月から、YouTubeでの動画配信になりました。より実践的な内容が映像で確認できるため、非常に便利になりました。10分以下の短い動画もありますので、気軽に視聴することができます。

■国立国会図書館公式チャンネル

URL : <https://www.youtube.com/channel/UChpDnv60i1LxOszXgBSE7DA>

■遠隔研修のページ

URL : <http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/index.html>

特におすすめしたいコンテンツは以下のものです。

「動画で見る資料保存：簡易補修」

利用者が熱心に利用する資料は、特にぼろぼろになって返却されると思います。何とか補修は行っても、どういった方法がベストなのか、判断に困ることが多いと思います。

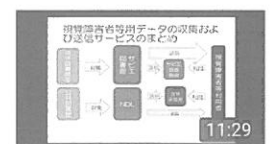
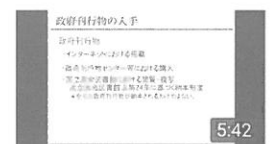
動画で確認しながら実際の手順を確認できるので、非常に便利です。反復して視聴できます。動画だけでなく、テキストも用意されています。

ただし、ここで紹介されている補修方法は一般書を対象にしています。貴重書や破損のひどい資料については、無理な補修は加えないほうがよいようです。専門業者に補修を依頼する、補修は加えず保存箱などに保管する等の代替手段を検討するとよいでしょう。

「官庁資料・政府情報の概要及び検索方法」

官公庁が発行する統計、白書等は、非常に多くの種類が発行されています。レファレンスにこれらの資料をうまく活用できているでしょうか?改めて振り返ってみると、正しく理解できているか、自信のない方もいるかと思えます。

白書・統計は、冊子で発行され図書館で収蔵されているもの、ウェブ上で公開されているもの等、様々ありますが、それらの特徴や検索方法を、改めて学ぶことができます。曖昧に理解しているようでしたら、学びなおしてみるとよいでしょう。



■ Interview

キャリアパワーNEWスタッフさんのご紹介

今回は滋賀県大津市にあります大手放送局でご就業されている杉本実優さんに入社1週間が経過された日にお話を伺いました。



滋賀県大津市
大手放送局勤務
杉本 実優様

自分らしく生き、自分をもっと輝かせたい!良い出会いは想いから始まる

キャリアパワーさんへ登録するまでは大阪府内にて長年、仕事をしていたのですが、今年に入り地元の滋賀県に戻る事となりました。それまではずっと正社員で働いており、それぞれ仕事を優先した人生でしたが、今回地元に戻ることをきっかけに働き方など将来について色々と考えました。

そこで出た答えが「もっと自分らしく!」なりたかったです。プライベートの時間がしっかりとあり、仕事は充実して遣り甲斐がある。今と言うワークライフバランスがとれる仕事になります。そこで派遣での就業であれば、その希望が叶うと思い派遣でお仕事を探したのが最初ですね。

そこからキャリアパワーさんからご紹介いただいた今の職場に出会うのですが、最初お仕事を探している時はキャリアパワーさん以外の派遣会社へ登録をしてお仕事の紹介をもらっていたのですが、自分が希望していないお仕事のご紹介が多く「仕方が無いのかな...」と半ばあきらめていました。それでもインターネットで色々を探しているうちにキャリアパワーさんとお会いしました。キャリアパワーさんの仕事は遣り甲斐があり、すごく面白そうなお仕事が多く、また自宅から近いお仕事もありキャリアパワーさんのお仕事ならワークライフバランスがとれる!と思いました。派遣先様、キャリアパワーさんと良い出会いをいただけたと思っています!

できることは何でもする!周りに甘えず、自分を律していくことで成長がある

今の派遣先は事務職のデスクワークですが、それまでは事務職の経験がほとんどなく最初は不安もありましたが、今は未経験のお仕事へ挑戦して良かったと感じています。仕事探しの時は事務職の経験が少ない事やまた転職する事自体も色々不安がありましたが、最後に私の背中を後押ししてくれたのはキャリアパワーの担当者さんでした。この場を借りて御礼を言いたいですね!また派遣先の方も皆さん良い方ばかりで、お仕事も楽しくできています。

ですが、自分自身がその様に思っているもやっぱり「仕事」ですので仕事で早くお役にたたないと!とあせったりすることはあります。事務職の経験が少ない事で、今は挑戦をさせてもらっている状況とは思っていますが、この状況に甘えず自分自身が1日でも早くスキルアップをして、仕事で貢献できる存在に早くなりたいです。

派遣先様からもやさしくフォローをいただいておりますが、そこにも甘えてはいけないうえ、自分自身で今、何ができるか考えた結果、まずは誰よりも明るく、元気に挨拶をする!このことを心がけています。仕事以外でも出来ることはたくさんありますので、どんな事でも精一杯していきたいと思っています。仕事もですが、職場の雰囲気も私が入ったことで更に良くなったとも言われたいですね!

その分ではないですが、お昼休憩はかなりオフの状態です(笑)。食事も早々に済ませ、スマホで映画をずっと見ている!2、3日で1本の映画を見るペースで、仕事との切り替えを明確にして仕事に集中できる環境を整えています。リフレッシュする事はすごく大切です!ただ午後は映画の続きが気になることもあります(笑)仕事に集中してシャットダウンしています!

また現在の職場は放送局ですので、周りでは原稿読みや発声練習などが日常的な風景であり、視聴者目線がまだまだありますが(笑)働いていてワクワクする職場です。周りの社員様も私が不安に感じないように、日々気遣いをいただいております。社員様も責任感が強い方ばかりであり、頼れる方ばかりです。今後ともよろしくお願いします!

休日はリラックスをして仕事とのオン・オフをしっかりとわけるワークライフバランスができています

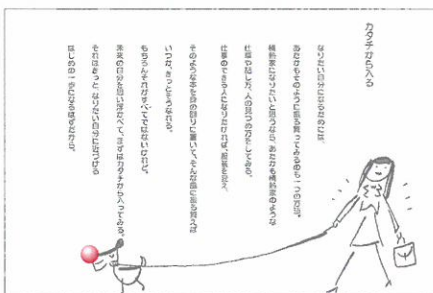
キャリアパワーさんからプライベートのことも質問頂きましたので、趣味や休日の過ごし方をお話させていただきます。昔はアウトドア派でしたが、最近はインドア派でゆっくりと自分の時間を作ることにしています。コーヒーがすごく好きでゆっくりと本を読みながらコーヒーを飲んだり、カフェに行ったり、コーヒーが目的でアメリカにも行ったりと(笑)コーヒーは自分自身のマストアイテムみたいな感じです。自宅でも豆から挽くハンドドリッパーで作ったりと色々楽しんでます。

また実は...ですが、少しモデルもしています!月1~2回ぐらいですが、プロのカメラマンに撮影をしてもらっています。カメラマン自身の作品作りにモデルとして協力しているのですが、モデルも自分の時間としてリラックスできる要因の1つでもありますね。

最後になりましたが、今回キャリアパワーさんで出会って思ったのがキャリアパワーで働いておられる方は皆さん気さくで良い方ばかりですね。人としてすごく人間味があり共感が持てます。今回の職場を紹介いただいた時から私の不安や心配を払拭してくれ、心強い存在です!派遣会社としても大学関係のお仕事や色々な業界のお仕事、公共関係などバラエティ豊富なお仕事たくさんお持ちであり、遣り甲斐を感じるお仕事が多いのも良いところだと思います。今後とも引き続きよろしくお願いします!

■ Information

● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe...」わたしたちキャリアパワーの信じるどころ。その想いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様的心里に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その想いを留めてほしい。ずっと変わらぬ想いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

☎ 0120-288-450 ✉ info@careerpower.co.jp

■ Information

人事労務最新トレンドセミナーを開催しました(大阪・東京)

5月29日(火)大阪、6月8日(金)東京と、2日間にわたって人事労務最新トレンドセミナーを開催しました。

改正労働者派遣法によるはじめての抵触日を9月末に控え、人事担当者様として意識していただきたいこと、抵触日の考え方、意見聴取の注意点など、社会保険労務士の中宮伸二郎氏を講師にお招きし、詳しく説明していただきました。

その他、改正労働契約法による無期転換の問題と対応、同一労働同一賃金に関連する行政の動きや各種判例、働き方改革に関連する法整備の進捗など、人事労務に関する最新の動向をお話しいただき、ご参加いただいたクライアント様からも、参考になったと大変好評をいただきました。

今後もキャリアパワーでは、各種セミナー等を通じ、クライアント様へさまざまな情報提供を行ってまいります。ご不明点、ご相談等ございましたら、弊社営業担当までお気軽にお問い合わせください。



講師
中宮伸二郎氏
(社会保険労務士)

社会保険労務士ユアサイド代表社員。オピニオン社の顧問社労士として労働法に関する助言を通じて派遣会社、スタッフ双方に生じやすい法的問題に精通。



■ Information

CSR活動

「大阪・京都にてクリーン活動を始めました(道路清掃)」

CSR部より



キャリアパワーCSR部は活動の一環として、国土交通省が実施している「ボランティア・サポート・プログラム」へ参加し、クリーン活動を実施しました。

実施日は雨が降ったり、寒い日であったりと天候に恵まれない時も多いですが、今回の様に社会へ貢献する事で社員一人一人のCSRに対する理解も深まり、自主性も育まれていると感じております。

「社会へ貢献する!」だけの想いから始まったCSR部。現在は様々な活動を通じて社会から教育を受け、各々が社会人として成長している部分も多くあります。「綺麗になると気持ちが良い!」や「思ったよりゴミが少なく、日本人のマナーに誇りを持てる!」など色々な意見も出て、この1つの活動でも社内が活発になりました。道路清掃は今後も継続実施をしていきますが、少しでも社会に貢献が出来るように色々な事にチャレンジしていきたいとキャリアパワーCSR部は考えております。

● 法令遵守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問い合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911

大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F

TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268

名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F

TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511

京都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通丸西入東堀小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F

TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828

滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西波川1-1-3 リパティールハウス4F

TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200

システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行

株式会社キャリアパワー

企画/制作

株式会社キャリアクリエイト

2018.6.15発行